

2021年10月24日

日本特別ニーズ教育学会「第27回研究大会優秀発表賞」の授賞について

日本特別ニーズ教育学会代表理事 加瀬 進
同 理事・研究委員会委員長 高橋 智

2021年10月24日に開催された日本特別ニーズ教育学会第27回研究大会における自由研究発表・若手チャレンジ研究会の研究発表のうち、下記の「研究大会優秀発表賞規程」に基づき、分科会座長の協議・推薦および理事会における審議により、日本特別ニーズ教育学会「第27回研究大会優秀発表賞」を決定いたしました。以下の3名の発表者の方に「第27回研究大会優秀発表賞」を授賞しましたので報告いたします。

今回授賞に至らなかった研究発表についても「あと一歩」という評価を受けている方も多く、次年度のチャレンジに心より期待をしております。

【自由研究発表】

授賞者：山口真美（大阪大学大学院人間科学研究科）

発表題目：登校をめぐる支援の様相と課題—公立小学校の加配教員を事例として—

【若手チャレンジ研究会】

授賞者：田中香帆（山梨大学教育学部障害児教育コース4年）

発表題目：ドイツにおけるインクルーシブ教育に関する研究—バーデン＝ヴュルテンベルク州の「特別教育・相談センター」に着目して—

授賞者：村井利帆（長崎大学教育学部特別支援教育コース4年）

発表題目：知的障害者の運転免許取得に関する研究—全国の知的障害特別支援学校高等部調査から—

10月24日の第27回研究大会クロージングセッションにおいて、理事会・研究委員会より発表・表彰（賞状授与）が行われました。

研究大会優秀発表賞規程

第1条(目的)

研究大会優秀発表賞(以下、優秀発表賞)は、日本特別ニーズ教育学会(以下、本学会)の「特別ニーズ教育に関する理論的・実践的研究を通して、学習と発達への権利に関する教育科学の確

立を期する」という目的に資するため、研究大会の自由研究発表（若手チャレンジ研究会発表を含む）における優秀な研究発表の表彰を通して、特別ニーズ教育研究の奨励と次世代育成をめざすものである。

第2条（対象）

優秀発表賞の対象は、研究大会の自由研究発表（若手チャレンジ研究会発表を含む）の筆頭発表者であり、かつ大学等の学部・専攻科・大学院等の学生、および研究歴の短い教育・保育・療育・福祉等の実践者とする。

第3条（審査・選考）

優秀発表賞の審査は、自由研究発表（若手チャレンジ研究会発表を含む）の分科会座長が発表要旨集掲載要旨、当日の発表内容・応答等を総合的に判断して、分科会各1名の候補者を理事会に推薦し、理事会の審議により決定する。

第4条（表彰・公表）

優秀発表賞は、研究大会のクロージングセッションにおいて理事会より発表・表彰し、授賞者に賞状を授与するとともに、本学会ウェブサイト・会報等にて公表する。

第5条（管理運営・事務）

優秀発表賞に係る管理運営および事務の執行は、本学会理事会の研究委員会および事務局がこれに当たる。

付則

1. この規程は2021年6月13日より施行する。第1回の優秀発表賞授賞は2021年10月24日の本学会第27回研究大会クロージングセッション時に行う。